

## 宮城県の宿泊者数

### 1. 概況

平成21年の宮城県の延べ宿泊者総数は、6,606千人となっており、居住地別の内訳は、県内宿泊客(以下、「県内客」という。)が2,038千人(構成比30.9%)、県外宿泊客(以下、「県外客」という。)が4,353千人(同65.9%)、外国人宿泊客(以下、「外国人客」という。)が115千人(同1.7%)となっています。

東北地方における宮城県の位置付けをみると、延べ宿泊者総数は福島県(7,124千人)に次いで2位、内訳は、外国人客が1位、県内客および県外客が福島県に次いで2位となっています。なお、宮城県の47都道府県中の順位は、延べ宿泊者総数が15位、県内客が13位、県外客が17位、外国人客が20位となっており、相対的に県内客が上位に位置している一方、県外客および外国人客が中位となっています。

図表1 宮城県・東北地方の居住地別延べ宿泊者数(平成21年) (千人泊、%)

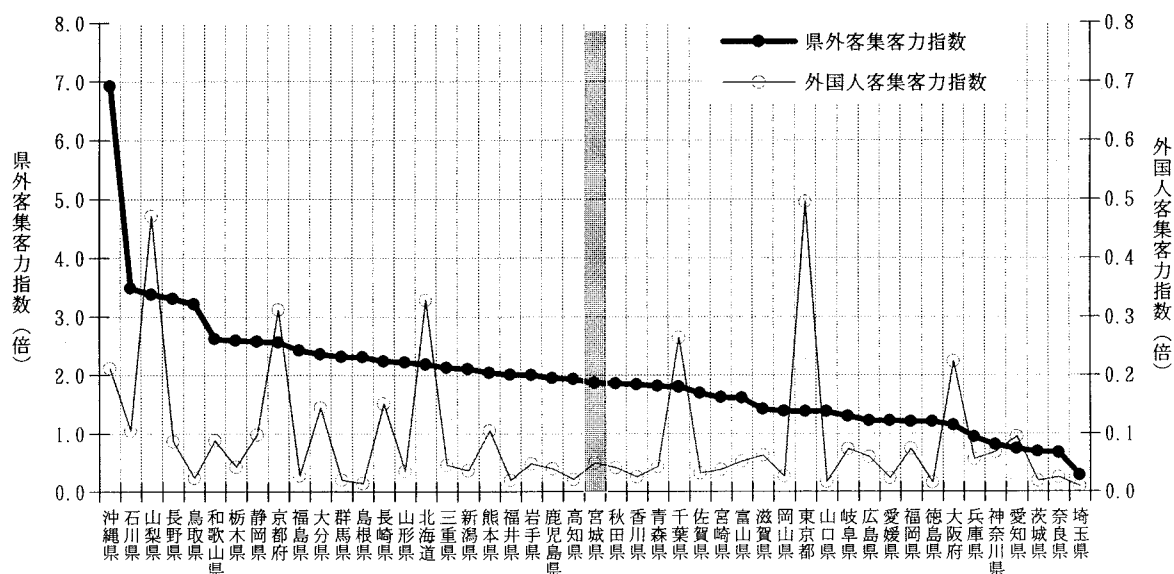
	総数	構成比		
		県内客	県外客	外国人客
宮城県	6,606	2,038 (30.9)	4,353 (65.9)	115 (1.7)
青森県	3,470	834 (24.0)	2,492 (71.8)	59 (1.7)
岩手県	4,158	1,368 (32.9)	2,684 (64.6)	65 (1.6)
秋田県	2,896	809 (27.9)	2,031 (70.1)	45 (1.6)
山形県	3,998	1,318 (33.0)	2,617 (65.5)	42 (1.0)
福島県	7,124	2,094 (29.4)	4,949 (69.5)	57 (0.8)
東北地方	28,252	8,461 (29.9)	19,127 (67.7)	383 (1.4)
全国	301,304	71,369 (23.7)	202,637 (67.3)	18,298 (6.1)

注1)総数には居住地不詳を含む。

2) ( ) 内数値は居住地別構成比。総数に居住地不詳を含むため合計は100%とならない。

資料：国土交通省「宿泊旅行統計調査報告」(以下の図表も同じ。)

図表2 都道府県別の県外客・外国人客集客力指数(平成21年)



## 2. 県外客・外国人客の集客力

各都道府県の県外および外国人の宿泊客数を当該都道府県の人口（平成21年10月1日現在、推計人口）で除したものをそれぞれ県外客集客力指数、外国人客集客力指数とし、各都道府県の相対的な集客力をみると、図表2のとおりとなります。

宮城県の県外客集客力指数は1.86倍、都道府県別順位は24位、外国人客集客力指数は0.05倍、同23位となっており、それぞれの宿泊者数の順位（県外客17位、外国人客20位）と比べ低位にとどまっていることから、これらの宿泊者数の引上げ余地があるものと考えられます。

なお、各都道府県の状況をみると、県外客集客力指数については、国内屈指の観光リゾート地である沖縄県（6.92倍）が人口の約7倍弱の集客力を示す指数でトップとなり、次いで石川県（3.48倍）、山梨県（3.37倍）、長野県（3.30倍）、鳥取県（3.21倍）などとなっています。一方、外国人客集客力指数は、東京都が0.50倍と最も高く、次いで山梨県（0.47倍）、北海道（0.33倍）、京都府（0.31倍）、千葉県（0.26倍）などとなっています。

## 3. 都道府県別延べ宿泊者数の前年比増減率

平成21年の宮城県の延べ宿泊者数前年比増減率は、1.4%減となっており、都道府県別順位は16位となっています。これは新型インフルエンザの流行や世界的な景気後退の影響のほか、前年に開催された仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの反動減などによるものです。各都道府県の状況をみると、最も増加したのが、鳥取県で、前年比30.9%増となっており、次いで、青森県（同14.3%増）、岩手県（同9.8%増）、新潟県（同7.9%増）などとなっています。東北地方の状況をみると、太宰治生誕100年にあたり斜陽館などへの観光客が増加した青森県が全国2位となったほか、岩手県が地震による前半の大幅減少の反動から3位となり、NHK大河ドラマ「天地人」の舞台となった山形県（同5.6%）が5位となりました。一方、他の3県では減少しており、中でも福島県（同7.3%減）の減少が目立つものとなっています。

図表3 都道府県別延べ宿泊者数の前年比増減率

